

# 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト の進捗について

---

# 1. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が多数発生するとともに、本川下流部では大規模な内水被害が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となった。
- 今後、関係機関が連携し、ハード整備・ソフト対策が一体となった流域全体における総合的な防災・減災対策を行うことにより、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指す。

## ①河川における治水対策の推進

【ハード整備】約1,840億円

- 観測史上最高水位を更新するほどの大規模な洪水により、本川・支川で越水・溢水、堤防決壊、内水氾濫等が多数発生
- 本川の水位を低下させる対策、支川における堤防強化等の治水対策を推進

＜主なメニュー案＞

- ・国・県管理河川の堤防決壊箇所等、被災した河川管理施設の「災害復旧」の推進
- ・現在 実施中の「堤防整備」等の早期完成
- ・「河道掘削、樹木伐採」等の推進、「河川整備計画」に位置づけられている「河川の水位を低下させる対策」等の順次検討・着手
- ・本川の背水影響が及ぶ支川等の「堤防強化」、「準用河川」の整備促進
- ・内水が顕著な河川等における「排水機能の強化及び耐水化」
- ・既存ダムの洪水調節機能強化



98.6k 左岸堤防決壊箇所(須賀川市)

## ②減災型都市計画の展開

- 沿川都市の都市化の進展により低平地の新興住宅地等での浸水リスクが顕在化

→沿川地域における住まい方、まちづくりの工夫の推進

＜主なメニュー案＞

- ・浸水リスクを考慮した「立地適正化計画」の展開
- ・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成
- ・「特定都市河川」制度に準じた流域対策(例:雨水貯留施設等)
- ・高頻度で浸水する区域の「災害危険区域」等の指定



下水道事業による雨水貯留施設の例(郡山市)

## ③地区単位・町内会単位での防災体制の構築

- 本川や支川の氾濫、内水など、地区毎に異なる氾濫形態が避難行動に影響
- 的確な避難行動に資するきめ細かな情報提供等の推進

＜主なメニュー案＞

- ・支川や内水も考慮した「タイムライン」の整備・改良
- ・浸水想定区域における「町内会版タイムライン」の策定・普及、訓練の実施
- ・危機管理型水位計の活用による「地区ごとの避難体制」の構築
- ・県管理の水位周知河川及び国管理ダム下流等の「洪水浸水想定区域」の早期公表

## ④バックウォーターも考慮した危機管理対策の推進

- 本川上流部では、背水が支川の氾濫にも影響
- 本川合流部周辺における支川の減災対策の推進

＜主なメニュー案＞

- ・本川の背水影響が及ぶ区間への「危機管理型水位計」及び「カメラ」の設置等
- ・本川の背水影響が及ぶ区間に設置した危機管理型水位計と連動した地区ごとの「避難計画」の策定



本川・支川合流部(本宮市)

## ⑤市町村の実情に応じた減災の取り組み

→地域の特性等を踏まえた各種減災対策の推進

- ・流出抑制・氾濫抑制の取組、住民参加型の防災訓練、マスメディアと連携した情報発信 等

相互に連携

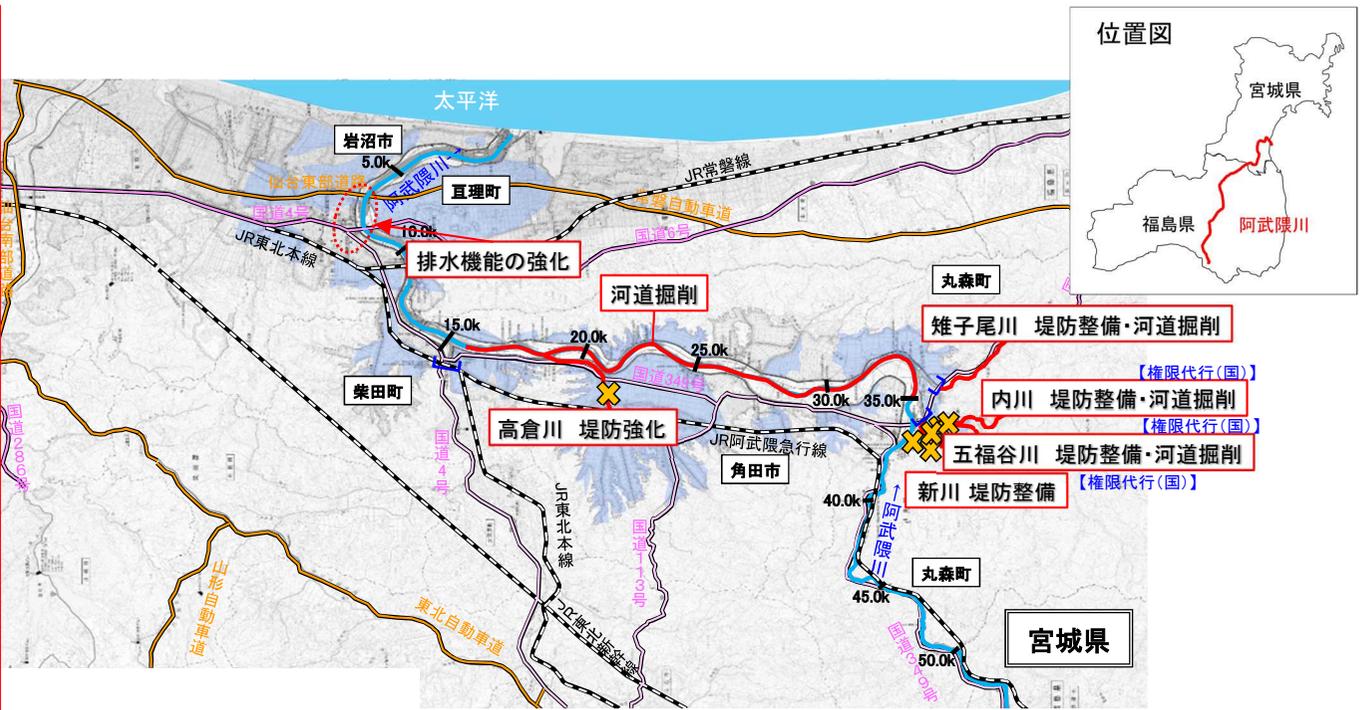
土地利用や避難体制を意識した事業推進  
施設整備計画を踏まえた避難計画等

【ソフト対策】

# 1. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 全体事業費 約1,840億円
- 事業種別
- 改良復旧事業
  - 国：阿武隈川上流(福島県内)
    - 全体事業費 約999億円
    - 事業期間 令和元年度～令和10年度
  - 国：阿武隈川下流(宮城県内)
    - 全体事業費 約215億円
    - 事業期間 令和元年度～令和6年度
  - 福島県： 約 66億円
  - 宮城県： 約 18億円
- 災害復旧事業
  - 国：阿武隈川上流(福島県内)
    - 全体事業費 約130億円
    - 事業期間 令和元年度～令和2年度
  - 国：阿武隈川下流(宮城県内)
    - 全体事業費 約 99億円
    - 事業期間 令和元年度～令和2年度
  - 福島県： 約268億円
  - 宮城県： 約 44億円



※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

## 2. 阿武隈川上流における治水対策の状況【概要】

- 令和元年東日本台風では阿武隈川流域において、既往最大の洪水により堤防が決壊するなど各地で甚大な被害が発生したことから、国、県、沿川市町村により「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

### 阿武隈川上流本川等の主要事業(国)

- 災害復旧事業

被災した80箇所(荒川などの支川含む)の施設の復旧が完了(令和4年9月)。

- 河道掘削事業(全川)

全体計画約220万 $m^3$ のうち、これまで約160万 $m^3$ (約7割)の掘削を完了。

(令和5年9月末時点)。今年度末までに約170万 $m^3$ (約8割)の掘削を目指す。

- 遊水地整備(鏡石町、矢吹町、玉川村)

沿川3町村の地権者の皆様のご協力を得て、用地協議、代替地整備、埋蔵文化財調査等を実施中。

- 橋梁架替(須賀川市)

雲水峯大橋、小作田橋の2橋について、堤防整備と橋梁架替を実施中。

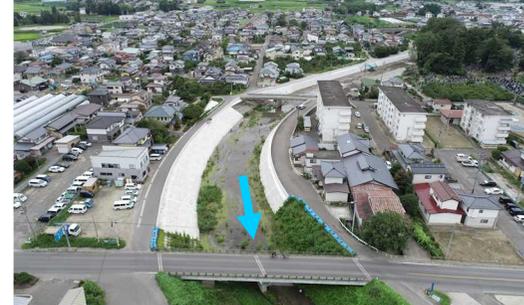
河道掘削(福島地区\_福島市)



橋梁架替(雲水峯大橋\_須賀川市)



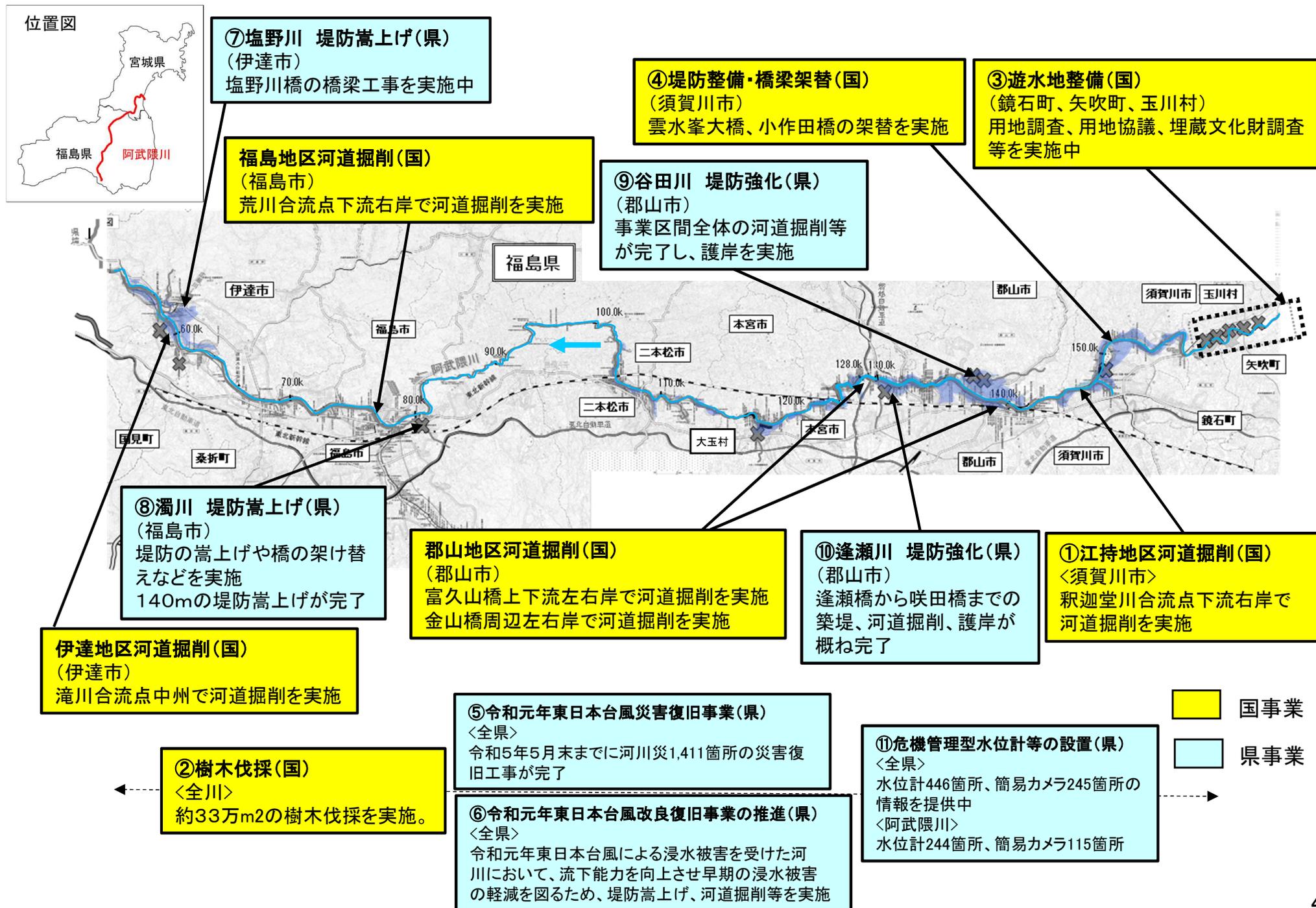
堤防嵩上げ(塩野川\_伊達市)



### 阿武隈川支川の主要事業(県)

- 塩野川(伊達市)、安達太良川(本宮)等については、流下能力の向上とバックウォーター対策のため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施中。

# 3. 緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所

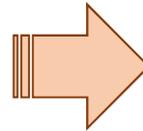


# ① 河道掘削(例:江持地区\_須賀川市)(国事業)

○ 釈迦堂川合流点下流右岸側江持地区において河道掘削を実施。



施工前(令和2年12月)



施工後(令和5年7月)

(工事状況)



(令和3年12月)



(令和4年4月)



(令和4年7月)

河道掘削の施工状況

# 【参考】掘削残土が造り出す産業基盤！（事例：工業の森・新白河）

- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに伴い発生する河川掘削土を、白河市の県営工業団地「工業の森・新白河」へ搬出。
- 令和4年2月から本格的に河川掘削土の搬出を開始し、これまでに約28万m<sup>3</sup>を搬入済み。
- 令和5年7月28日 企業の立地が決定！ 地域雇用の拡大が期待される。



掘削土搬入後（令和5年9月）



掘削土搬入前（令和3年11月）



造成イメージ（福島県より）

PRESS RELEASE

令和5年7月28日  
福島県企業立地課

報道関係者各位

## 「工業の森・新白河A-1工区」 工場立地に関する基本協定締結式の開催について

現在、造成工事を進めている県営工業団地「工業の森・新白河A-1工区（白河市豊地地内）」につきまして、下記のとおり、福島県、地元自治体である白河市、半導体製造装置向けの石英ガラス加工製品等を製造する「株式会社 横浜石英 様」、「ヒメジ理化 株式会社」様の4者による工場立地に関する基本協定締結式を行いますので、お知らせいたします。

記

### 1 「工業の森・新白河A-1工区」工場立地に関する基本協定締結式日時等

- (1) 日 時  
令和5年8月4日（金）11時30分～12時00分
- (2) 会 場  
福島県庁本庁舎2階応接室
- (3) 当日の次第
  - ① 出席者紹介・協定概要説明
  - ② 協定書署名（締結）
  - ③ 記念撮影
  - ④ あいさつ
  - ⑤ 共同記者会見

### 2 協定締結者

- (1) 福島県知事 内堀 雅雄
- (2) 白河市長 鈴木 和夫
- (3) 株式会社横浜石英 代表取締役社長 南 勝也（みなみ かつや）
- (4) ヒメジ理化株式会社 代表取締役社長 赤崎 充（あかさき みつる）

### 3 その他

別紙のとおり

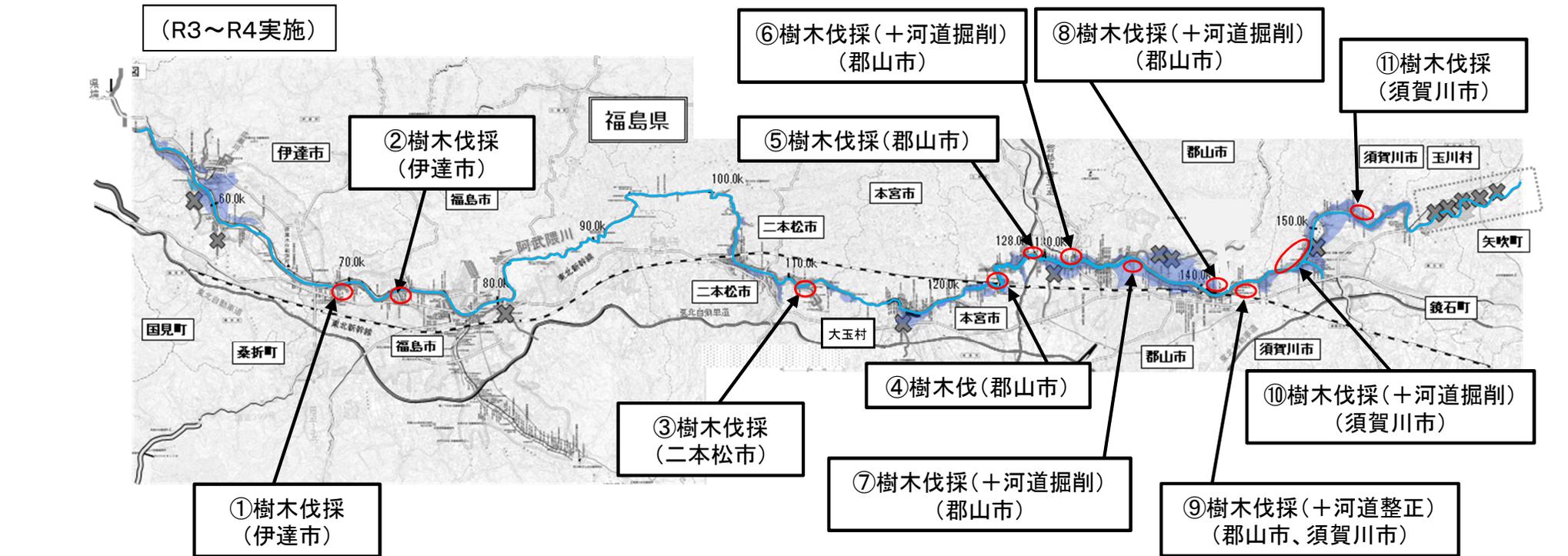
### 【本件に関する問合せ先】

福島県企業立地課 副課長兼主任主査 日比野州 Ⅱ：024-521-8520（内線2886）  
白河市 町工課 課長 貞敷 薫 Ⅱ：0248-21-5910

記者発表資料（福島県HPより）

## ② 樹木伐採(国事業)

○流下能力の向上・河川監視カメラの視認性向上などを目的とし樹木伐採(約33万m<sup>2</sup>)を実施。



樹木伐採前(④日向地区)



樹木伐採後(④日向地区)



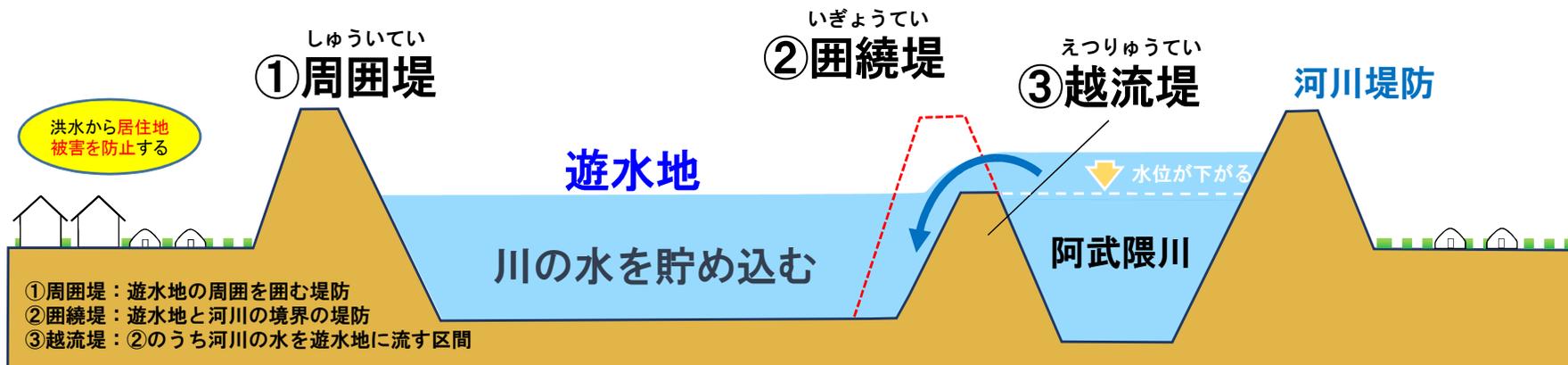
樹木伐採前(⑥小泉地区)



樹木伐採後(⑥小泉地区)

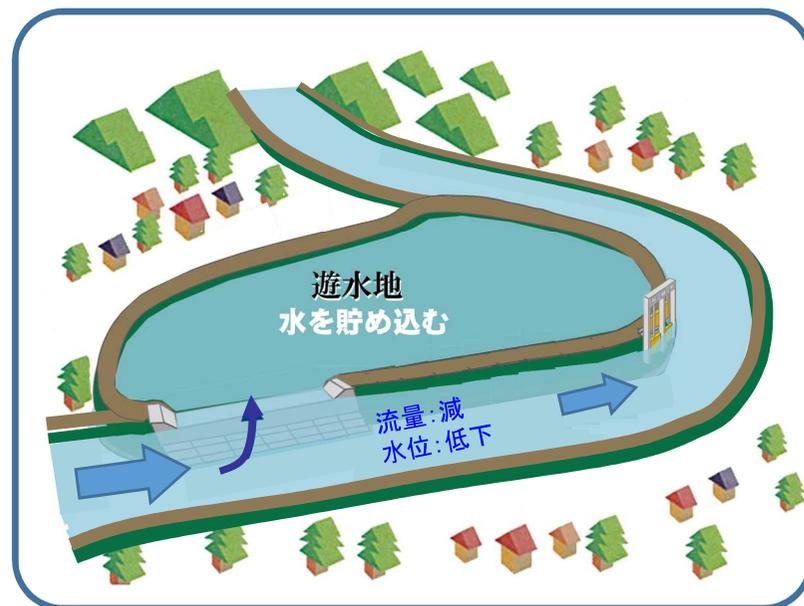
### ③ 遊水地群整備 遊水地の役割(国事業)

○遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減。



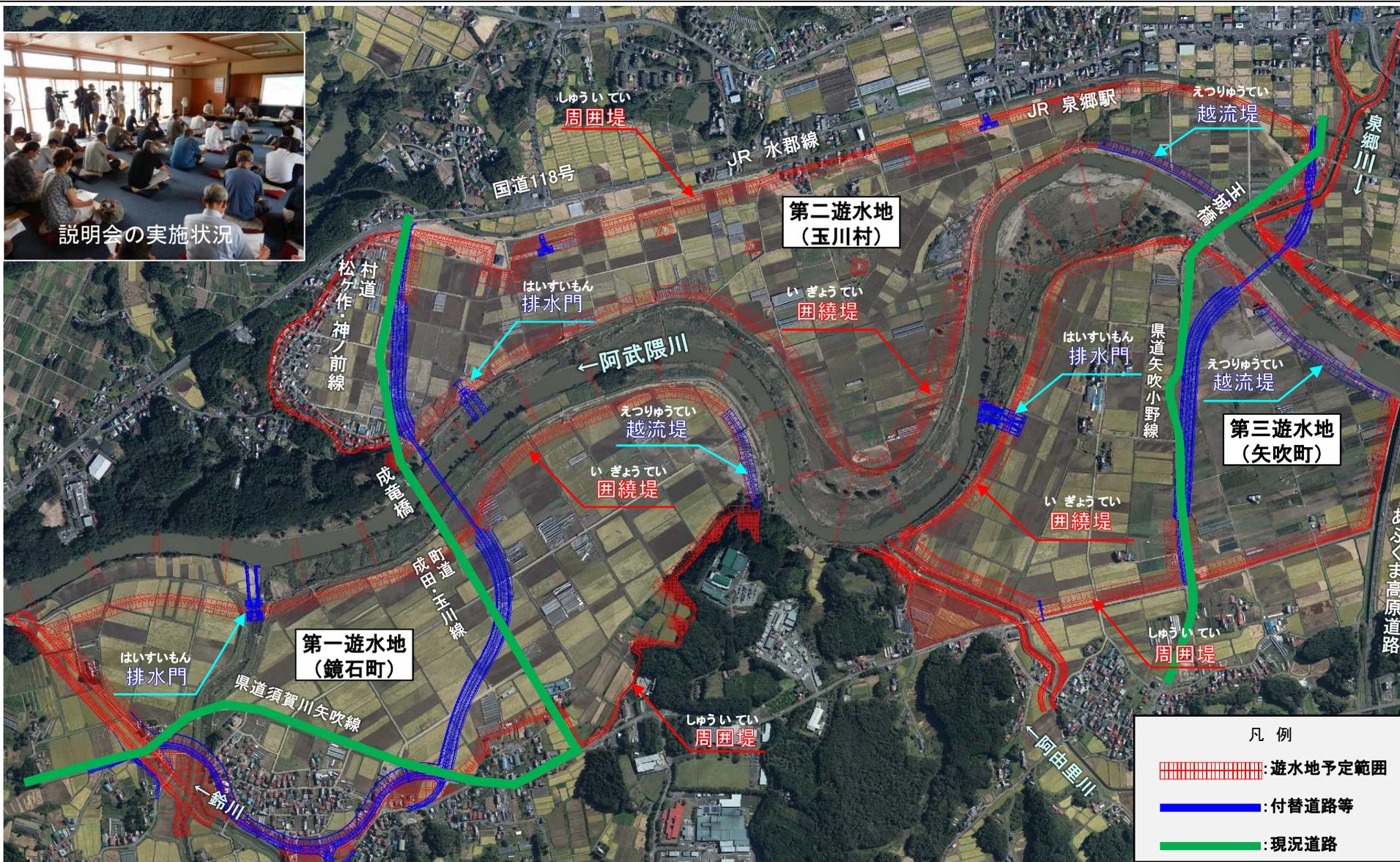
【平常時のイメージ】

【洪水時のイメージ】



### ③ 遊水地群整備(鏡石町、矢吹町、玉川村)(国事業)

- 3つの遊水地整備を実施。(全体面積約350ha、洪水調節容量1,500~2,000万m<sup>3</sup>程度)
- 令和2年度からこれまで6回の事業説明会を開催。(参加者:延べ約2,000人)
- 流域の浸水被害軽減に向け、この遊水地では、地権者の皆様から貴重な土地を提供いただいた上で地盤を掘り下げ容量を確保。
- そのため、家屋移転・土地の提供等をいただく皆様を含め、地域の方々のご理解・ご協力により、令和4年10月から用地協議に着手。
- 令和10年度の完成を目指し、地権者の皆様と用地協議中。



### ③遊水地群整備 令和5～7年度の主な実施項目(国事業)

○用地協議、代替地整備、各種調査等を以下の工程で実施予定。

主な実施項目	年度 月	令和5年度												令和6年度												令和7年度												摘要
		04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	
事業計画の説明等		[斜線]											説明会	随時																								
用地関係	主に農地	令和4年10月より用地協議開始																																				
	主に宅地	令和5年7月より用地協議開始																																				
地下水位観測		必要に応じ調査を継続																																				
環境調査		必要に応じ調査を継続																																				
埋蔵文化財調査		試掘調査: 令和5年3月から矢吹町(第3遊水地)で一部開始																								試掘調査結果を踏まえて、本調査範囲の確定												
代替地(宅地)		基本設計			代替地(案提示)	意向調査(第2回)		実施設計					用地協議							代替地造成・インフラ整備																		
		用地協議が完了し、施工が可能となった箇所から順次着手																																				
土地の利活用		[斜線]											検討会	検討会 年2回程度実施予定																								

注) 上記プロジェクト工程については、今後の調査状況等により変更する可能性もあります。

# ④ 橋梁架替(雲水峯地区\_須賀川市)(国事業)

○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前 (2020年10月)



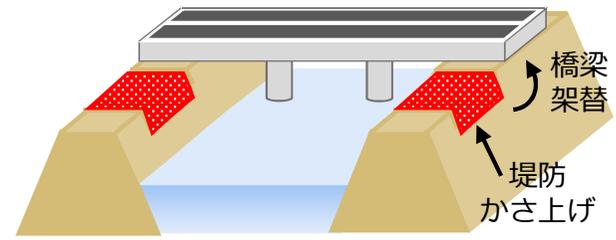
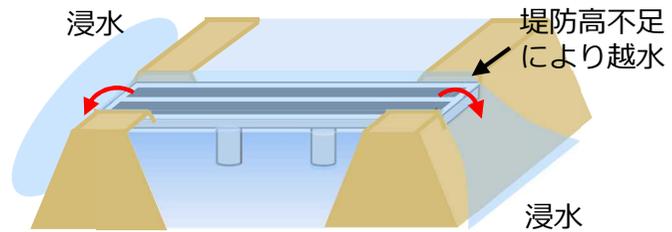
工事前 (2020年10月)



工事中 (2023年7月)

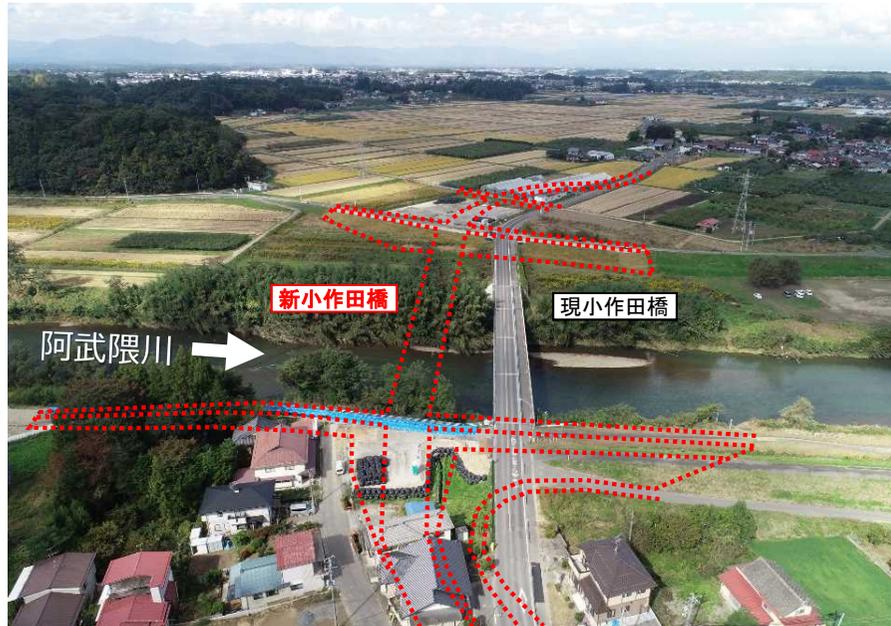


工事後 (2023年7月)

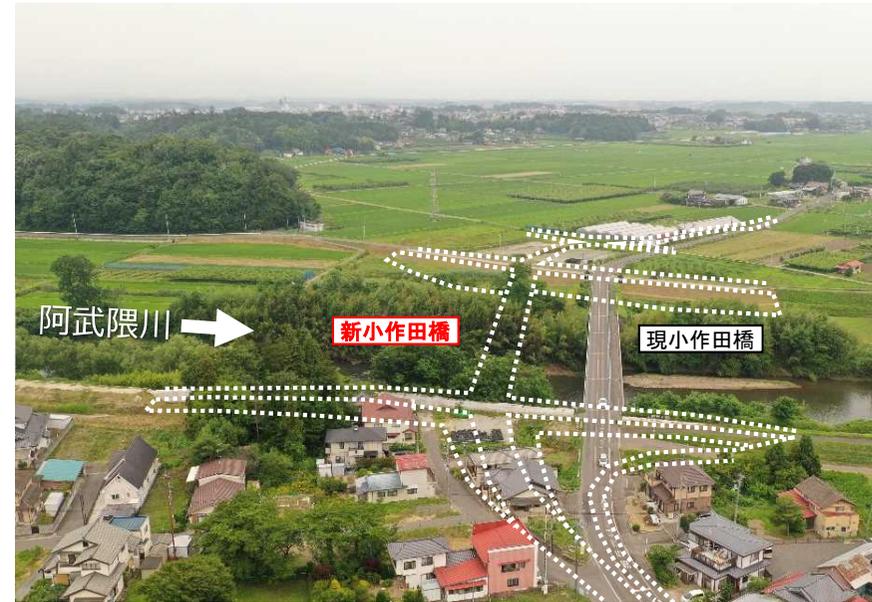


## ④ 橋梁架替(小作田地区\_須賀川市)(国事業)

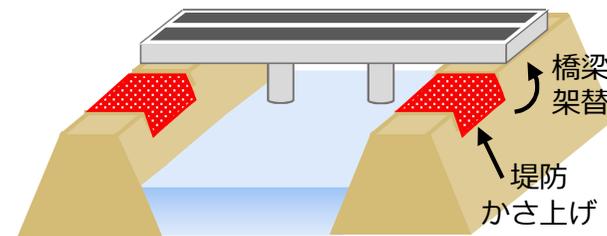
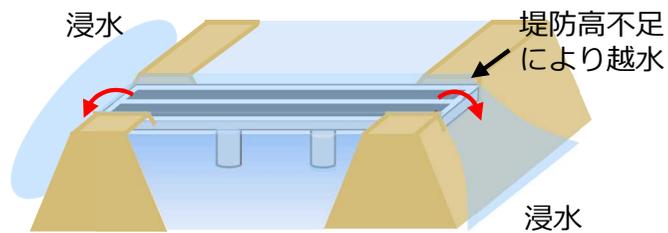
○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前 (2020年10月)



工事中 (2023年7月)



# 4. 阿武隈川下流における河川大規模災害関連事業の工事状況

## 【概要】

令和元年10月台風第19号により、一級河川阿武隈川水系阿武隈川下流(宮城県角田市、丸森町ほか)では、本川の水位上昇に伴い、支川の氾濫や内水被害により、事業所、家屋等の浸水や堤防からの漏水と言った甚大な被害が発生した。

災害復旧事業による原形復旧のみでは必要な治水安全度が得られないことから、大規模災害関連事業により、河道掘削(約70万m<sup>3</sup>)を行うことで、災害要因を除去し、再度災害の防止を図るものである。

## 【事業主体】

事業主体:東北地方整備局

河川名 :一級河川阿武隈川水系阿武隈川

事業箇所:宮城県角田市、丸森町、柴田町

## 【工事】

### ①阿武隈川下流坂津田地区河道掘削等工事

工事内容:河道掘削、築堤、樹木伐採

### ②阿武隈川下流佐倉下流地区河道掘削等工事

工事内容:河道掘削、樹木伐採

### ③阿武隈川下流佐倉上流地区河道掘削等工事

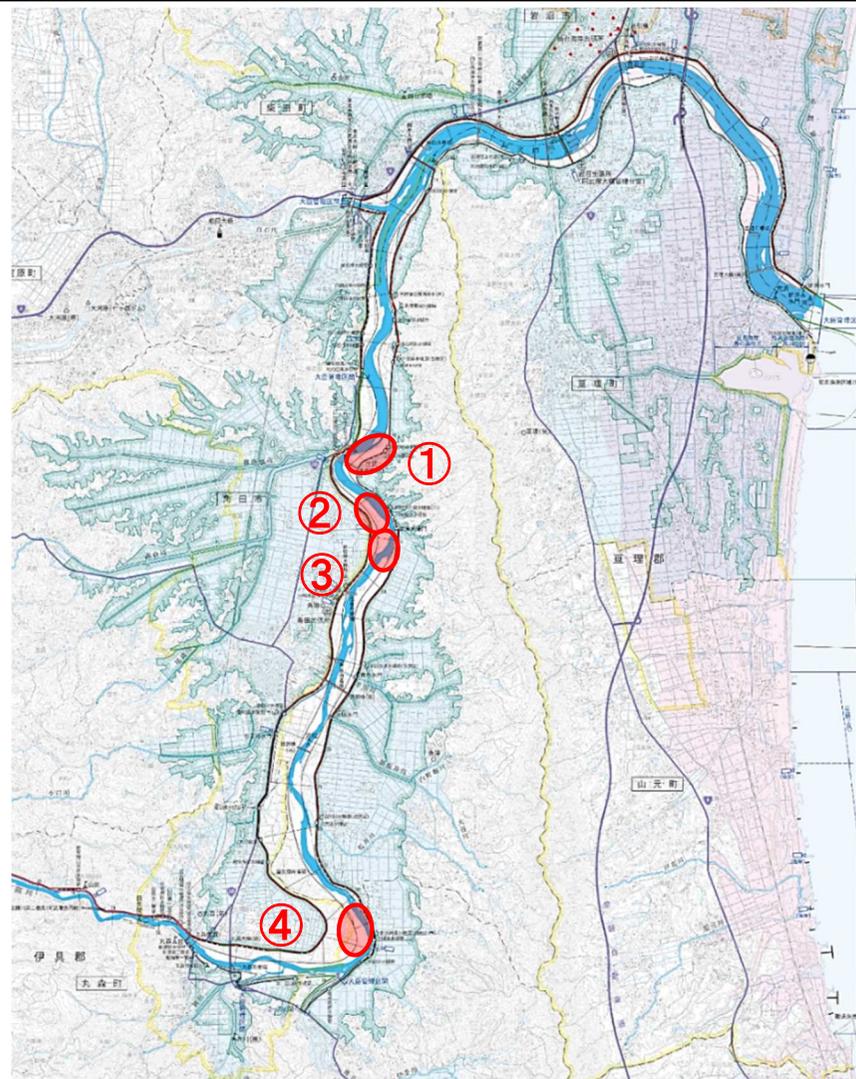
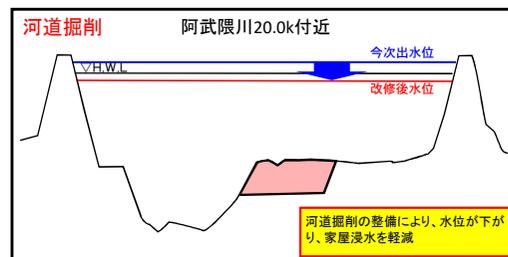
工事内容:河道掘削、樹木伐採

### ④阿武隈川下流館矢間地区河道掘削等工事

工事内容:河道掘削、樹木伐採



▲阿武隈川沿川における大規模な浸水状況



# 【阿武隈川下流】大規模災害関連事業 進捗状況写真

令和5年11月末時点

## ●坂津田地区(河道掘削)



## ●佐倉地区(河道掘削)



## ●館矢間地区(河道掘削)

